

(別記様式1)

令和5年度 社会福祉連携推進法人ジョイント&リップル 業務評価

1 評議会開催日

令和6年4月10日

2 評価項目

(1) 社会福祉連携推進方針に照らした個々の業務の実施状況・費用対効果について

地域福祉 支援業務	各社員法人における公益的な取組み及び、連携推進法人として取り組んだ公益的な取組について情報収集及び整理が行われた。 リデルライトホームが中心となって実施していた生計困難者レスキュー事業に共同で取組み、また、令和6年3月に行われた Yuru カフェといった啓発活動等、お互いが持つ特技を共有し合い共に新しい物を作り上げている。
災害時支援 業務	BCP 策定、能登半島地震への災害派遣業務、また福祉避難所立上げゲーム (SgSE) の実施について、聞き取りを行った。 BCP 作成については、合同研修の実施、また策定の補助といった、相互に助け合いながら BCP 作成に至っている。また能登半島地震への災害派遣業務では、これまで派遣経験のなかった法人から派遣ができたことなどの実績が上がっている。SgSE の研修は、熊本市や合志市や和水町、長洲や荒尾といった広範囲で実施されたことは、熊本県内の災害時の協力体制を作る上で大変貴重な機会になったと考えられます。
経営支援 業務	毎月の作業部会において、相互に経営状況の確認を行っていたこと、またその課題に対して、B型事業としての委託業務をすすめたこと、合同の授産品販売会といった実績ができました。 また、他法人の合同見学会などを企画・実施され、将来に向けた経営方針と共に考える機会になったと思います。
貸付業務	
人材確保等 業務	合同研修の実施、また、相互の副業の推進、そして、将来の人材確保に向けたイベントの開催といった内容の報告を受けました。
物資等供給 業務	それぞれの PR 動画の作成、SNS の立上げを実施されています。物資だけではなく、人財のスケールメリットを活かし、様々な取組みをされています。

(2) 事業報告書の内容について

異議なし
